

町介護保険事業

質問Ⅱ認知症対策にも特段の力を 答弁Ⅱ新オレンジプランに沿って



山岡 勉議員

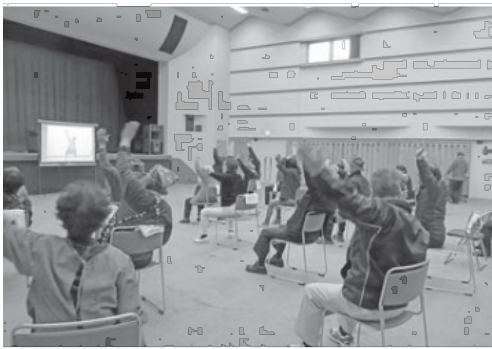
2025年には、65歳以上の5人に1人が認知症になると推計されている。

認知症対策は、早期発見・初期対応が重要であることは言うまでもない。
町の取り組みは。

池田町長

国の新オレンジプランに沿って、次の4点を重点に取り組んでいる。

- ① 認知症への理解を深めるための普及、促進。
- ② 認知症の発生の予防。
- ③ 認知症の実態に応じた適切な医療・介護の提供。
- ④ 介護者への支援として



「認知症カフェ」の設置や、認知症の早期診断・早期対応の体制整備の取り組み。

このように、町は平成22年から認知症サポーター養成講座を実施し、平成29年度末には1000人を超える予定で、発症予防には日常的な運動も重要であり「るんるん若ガエル体操」を介護・認知症予防の体操にバージョンアップし、地域に発信していきたい。

また、認知症の状態に合わせた適切なサポートを解

説した冊子の配布も予定している。

介護者の支援策としては「認知症カフェ」の設置の推進を、早期診断・対応の体制整備は、認知症初期集中支援チームとして、石川記念病院と地域包括支援センター職員で平成28年に設置し、必要に応じて家庭訪

菊池学園

質問Ⅱ成果と課題の検証は 答弁Ⅱ検証し次年度取り組みへ

山岡議員

町の教育力の底上げや教育を通した町の活性化を目指すとのことであった。

成果と課題についての検証は。

また、菊池学園の取り組みスキームの中で、教員や保育士の皆さん、その他関係者の皆さんの自ら学ぼうとする機運の広がりや高まりについて、事業を主導する教育委員会の肌感覚はどうか。また、教員の多忙化に拍車を掛けるものとなっていないか。

間などを行っている。

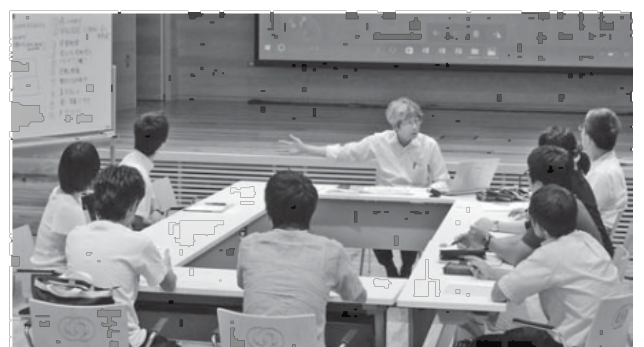
また、認知症地域支援推進員については、研修を終了した地域包括支援センター職員が、ご家族への相談支援や事業所との連携支援を行うなど、新オレンジプランに沿って様々な認知症対策を推進している。

藤岡教育長

次年度への事業につながるよう毎年検証を行っている。

先生方には「ほめ言葉のシャワー」に代表される菊池イズムの取り入れにより、先生方と児童・生徒の関係性や子ども同士の関係性などが形として見られ、互いの認め合いを感じている。

加えて、各学校の経営計画や先生方の目標設定シートに、町教育方針の自尊感情を高めるといった目標を設定したところで、さらに



より良い学校づくりに努めていただく。

就学援助

3費目拡充こそ

山岡議員

教育環境整備として、3費目（クラブ活動費・PTA会費・生徒会費）拡充こそ早急に。

藤岡教育長

就学援助の制度全般について、町の財政負担などを総合的に勘案しながら、前向きに検討したい。